

(県民のみなさまへ)

「麻しん（はしか）」の予防には ワクチン接種が有効です！！



佐賀県では、令和元年（2019年）5月5日に約9年ぶりに麻しん（はしか）患者の発生がありました。

また近年、アジア、アフリカなど海外流行国からの訪問者や海外渡航者がウイルスを国内に持ち込み、集団感染になる事例が報告されています。

麻しんは感染力が強く、空気感染し、麻しんに対する免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。

予防には、麻しんのワクチン（MRワクチン等）を受けていることが最も有効です。

**麻しんの予防接種を受けたことがあるのか(予防接種歴)、
麻しんにかかったことがあるのか(り患歴)を確認しましょう！**

- 海外へ行く方、空港に勤務の方
- 医療機関に勤務の方
- 児童福祉施設や学校などの職員の方
(乳幼児や児童、体力の弱い方など本人が麻しんを発症すると重症化しやすい方と接する機会が多い方)

<上記に該当する方>

り患歴や予防接種歴を母子健康手帳などの記録を使って確認し、

- ① 麻しんにかかったことがない又は麻しんにかかったことがあるか分からない
- ② 予防接種を2回受けていない又は予防接種を受けたか分からない

①かつ②に該当した場合、麻しんの予防接種を受けることを検討してください。

※予防接種法に定める「定期接種」の対象者でない方は、「任意接種」となり自費で接種することになります。

※妊娠中の方は、麻しんの予防接種を受けることができません。



定期の予防接種（2回）を受けましょう！

1歳児と**小学校入学前1年間の幼児**は、市町が実施する「定期接種」の対象です。対象期間内に接種することを積極的にお勧めします。

◎確実な免疫を得るために、**2回接種**しましょう。



「麻疹（はしか）」って どんな病気？



麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症で、「はしか」とも呼ばれています。

感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトへ感染が広がり、その感染力は非常に強いと言われています。麻疹ウイルスに対する免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。

◆症状

<主症状>

高熱、せき、鼻汁、目の充血、発疹です。

最初3～4日間は38℃前後の熱で、一時おさまりかけたかと思うと、また、39～40℃の高熱と発疹が出ます。高熱は、3～4日で熱が下がり、次第に発疹も消えます。

<合併症>

肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。その他の合併症として、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻疹ウイルスに感染後（特に学童期）、亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

◆感染予防

麻疹は感染力が強く、空気感染もしますので、手洗い、マスクのみで予防はできません。

麻疹の予防接種が最も有効な予防方法といえます。

◆麻疹にかかったかな？と思ったら

麻疹を疑う症状がある場合は、マスクを着用し、必ず事前に医療機関に連絡してから受診するようにしてください。

また、受診の際は、公共交通機関の利用は控えてください。

【お問い合わせ先】

佐賀中部保健福祉事務所	(0952) 30-3622
鳥栖保健福祉事務所	(0942) 83-3579
唐津保健福祉事務所	(0955) 73-4186
伊万里保健福祉事務所	(0955) 23-2101
杵藤保健福祉事務所	(0954) 22-2104
佐賀県健康増進課	(0952) 25-7075